

## ふるさと納税

**問** 返礼品の8割から9割を占める製造業の製品は、同じ寄附者が毎年希望される品物ではないため、それに代わる返礼品は考えているか。

**答** 寄附をする人の裾野を広げることで、新しい寄附者には加西市のオンリーワンで人気のある返礼品に注目してもらうとともに、毎年リピートしてもらえるような飲食物等の消費物での返礼品をふやしていくという両方の対応をしていきたいと考えています。

## 圃場整備

**問** インター周辺の圃場整備事業について、どのように進めていくのか。

**答** 関係する4町とも営農組織を立ち上げ、県営事業で採択してもらう予定です。ただ、地権者の同意ができた地区から実施していくのか、4町同時に実施していくのかは、地元と相談しながら進めていきたいと考えています。

## 道路整備

**問** 社会資本整備総合交付金事業について、道路維持費や道路新設改良費、橋梁維持費は、平成30年度に国の交付金が付かず事業が実施できなかったものを再度予算計上しているが、内示があって予算化しているのか。

**答** 国へ要望に行くなど予算獲得に努めており、国の予算が成立して以降の3月末または4月の内示を

待って対応できるよう、予算を計上しています。

## 環境

**問** 「世界首長誓約/日本」への署名に伴う気候エネルギー行動計画について、具体的にどのような取り組みを行っていくのか。

**答** 市内のエネルギー生産量と消費量を算出し、温室効果ガスの削減量を設定して具体的に太陽光発電等の再生可能エネルギーの検討を行うこととなります。

## 学校施設

**問** 雨水貯留施設整備工事について、規模や実施時期は。

**答** 北条小学校の運動場の地下に600㎡の貯水施設を埋め込む工事で、運動会等に支障のない夏休み中の工事実施を考えているが、設計が間に合わなければ運動会が終わったあとの工事実施を考えています。

## 保育料



**問** 保育料の無償化について。

**答** 平成31年度では、公立園・私立園とも、無償化となる部分については交付金で手当てされるが、平成32年度以降は、私立園のみが対象となります。ただし、平成32年度以降の公立園については、全額が普通交付税により措置されます。

## 予算決算常任委員会 (全体会)

各分科会で議案に対する質疑が行われた後、全体会を開催し、分科会長報告、報告に対する質疑、討論を経て採決を行いました。全体会での討論の一部を紹介します。

### 討論【反対】

北条鉄道交差施設設備は、乗客がふえるという見込みしか示されておらず、今後の鉄道の収支見通しや増便によるコスト、線路・車両等の修繕更新費用も含めて費用対効果を示すのが本来ではないか。単に利用者がふえるという見込みだけで進めることは疑問である。

播磨国風土記事業は、実施から6年が経過しても、いまだ1,000万円以上を投じている。例えば、市民会館で実施された歌手等のコンサートは、入場料が5,000円でもかなりの人が来ており、能・狂言も3,000円の入場料を上げてでも来る事業にしないことには、いつまでも風土記事業にお金を投じることになる。文化を定着させることは理解はするが、費用対効果を考えて事業を行うべきである。

※ 反対した議員からは、本会議最終日に修正案が提出されました。(6ページに掲載)

### 討論【賛成】

予算全般にわたりよく検討された中身のある予算と受け止め賛成する。

北条鉄道の交差施設整備事業は、開業以来の利用者の声を反映し、利便性を高めるためのものである。小野市と兵庫県の負担金拠出の合意も受けて、企業版ふるさと納税を活用しての事業化は、機を得たタイミングであり、ぜひ進めていただきたい。

播磨国風土記関連事業は、1300年祭を総合プロデュースした故藤田六郎兵衛先生の思いを受け継ぎ、引き続き人間国宝である大槻文蔵先生が能を演じていただけるとともに、プロの狂言師がこども狂言塾を指導していただけるもので、加西市にとっては、しっかりと定着させることが重要である。この事業こそ根女伝説に始まる加西をPRする最高最大の内容であり、加西市をあげて取り組むことの予算措置は大賛成である。